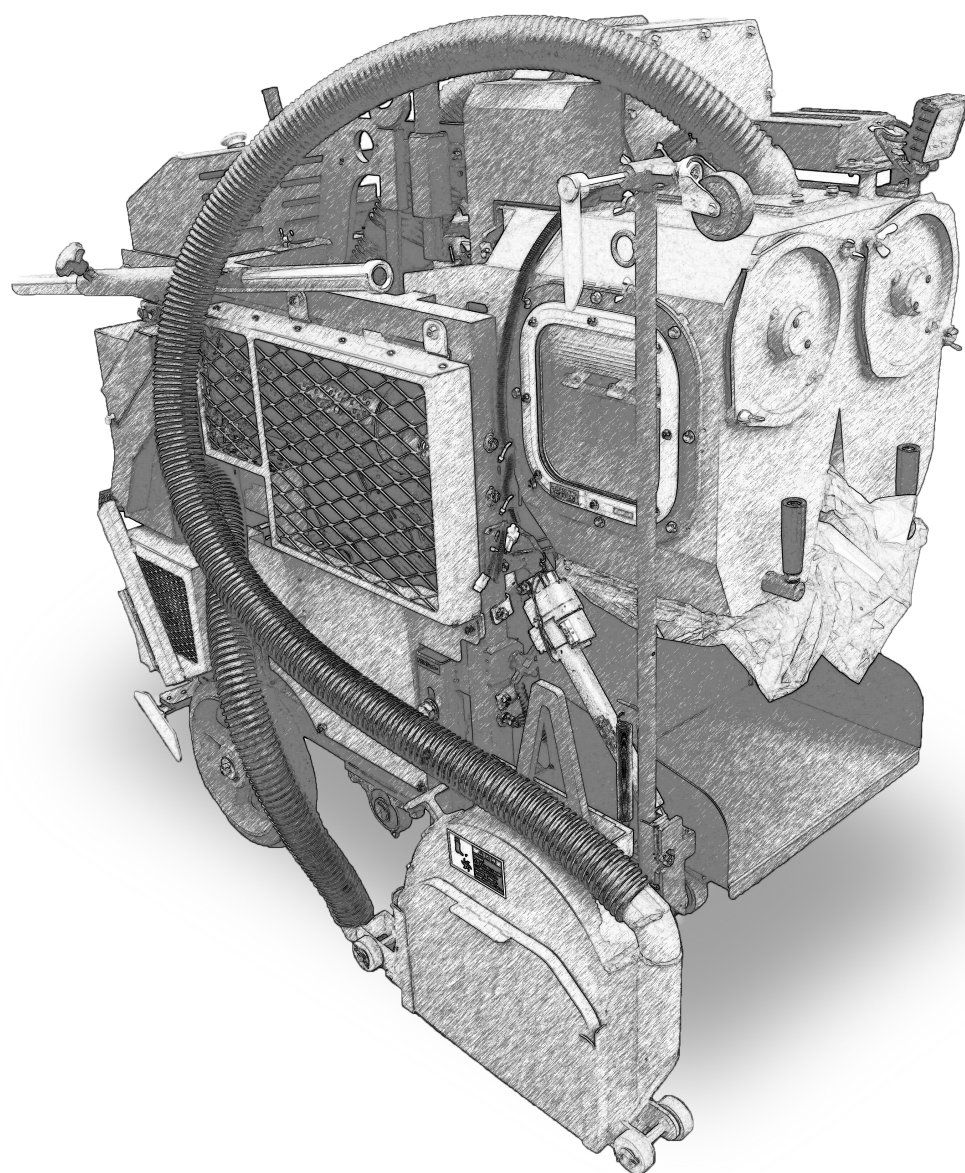


取扱説明書

Bau800



2021.11

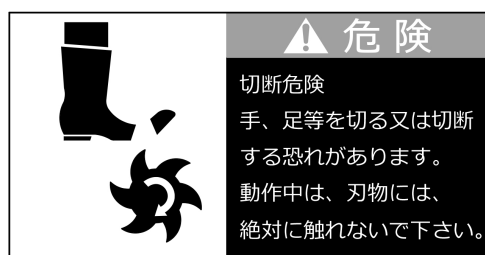
目次

Bau800 使用について	1
1. 嚴重注意事項	1
2. 機械を動かす際の確認作業	1
3. 可燃, 引火, 爆発の危険性への注意	2
4. 排気ガス(一酸化炭素)中毒や酸欠事故を起こさないために	3
5. ブレード, ブレードカバー	3
6. 安全な作業をするために	3
7. 機械吊り上げについて	3
8. 傾斜地での使用について	4
9. フランジナット, スペーサー	4
10. 機械保管について	4
11. 保証規定	4
操作要項&各部名称	5
機械本機	5
メーターパネル	7
Bau800 点検リスト	9
点検整備	10
オイル一覧	10
ベルト一覧	10
メインベルト(3VX-500)交換	11
走行ベルト(AX-28)交換	12
増速プーリーベルト(AX-28)交換	13
カウンターベルト(3VX-335)交換	14
プロアー駆動ベルト(25FL1180)交換	15
チェーン	16
エンジンオイル交換	17
オイルフィルター交換	18
集塵袋交換	19
集塵機フィルター交換	20
グリスアップ箇所	21
デプスストッパー	22
エンジン異常診断	23
Bau800 周速表	
Bau800 仕様書	

Bau800 使用について

1 厳重注意事項

- (1) 本製品は乾式専用です。路面や切り溝等が濡れている場合は、使用しないで下さい。
- (2) 保管及び稼働は第三者が接近しない場所を選んで行って下さい。
- (3) 周囲への安全確保の為、下図の「一般安全警告記号」がブレードカバーに示されている事を始業前に確認して下さい。



- (4) ブレードが回転中、ブレードカバー横の蓋及び後方のぞき窓を開けないで下さい。
- (5) 弊社に無断で改造をしないで下さい。
- (6) シフトレバーを手動に入ると、走行ミッションがニュートラルに入ります。その為、ブレーキが効いていない状態及び傾斜地などでシフトレバーを操作すると機械が逸走し大きな事故や怪我につながりますので、角度の付いた場所ではシフトレバーを触らないで下さい。
- (7) エンジン稼働中に、ボディーカバー開口部や網目部に手や指などを入れると大変危険です。尚、エンジン吸気口部に異物が吸い込まれないよう、ご注意下さい。
- (8) 切断中、本機を無理に前進させたり、ブレードに負荷が掛かると車体が浮き上がり後ろに下がる事があります。切断中は、無理に前進させず安全に作業を行って下さい。
- (9) 切断中は、必ずデフロックをONにして下さい。
- (10) 傾斜地で本機を使用すると、機械の破損や重大な事故につながる可能性が有ります。傾斜地での使用はできません。

2 機械を動かす際の確認作業

狭小地での本機の移動・作業・メンテナンスなどは大変危険です。広い場所・作業及び機械周辺状態等の安全が確保されている事を確認して実施して下さい。

(1) エンジン始動時

- ・ パーキングブレーキが掛かっている事を確認
- ・ 平坦地であるか確認
- ・ シフトレバーを手動レンジに入れる
- ・ 前後進レバーを中立にする
- ・ 周囲の安全確認（可動、回転部への接触、接近による事故防止、換気など）

(2) 本機からオペレーターや管理者が離れる場合

- 平坦地であるか確認
- 前後進レバーを中立にする
- パーキングブレーキを掛ける
- シフトレバーを切削レンジに入れる
- エンジンを停止し、エンジンキーを抜く
- メインスイッチを OFF にする

(3) 移動作業時

- 切削区域以外での移動時は、機械からブレードを外す
- 傾斜地での運転は控える
- 走行中、傾斜地でのシフトレバーの操作をしない

(4) 機械の積み下ろし作業

- ブレードカバー、ブレードは必ず外しておく
- 必ず平坦地で行う（坂道での作業は非常に危険です）
- 機械の後ろ（操作盤正面）に立たない（ゲートの上に機械がある時は横から作業する）
- パワーゲートの昇降は必ずエンジンを停止、シフトレバーを切削レンジ、ブレーキを掛けた状態で実施。また、日常からブレーキの点検を心がける
- パワーゲートの端部に落ち止めのストッパーを設ける
- パワーゲートの経年劣化による垂れを改善（平坦地で機械をパワーゲートに載せただけで、下り坂の状態になっているのは非常に危険です）
- パワーゲートに、機械を乗せたままで車の移動をしない

(5) 点検・整備

作業前や作業終了後に定期的に点検整備を行って下さい。詳細に関しては、本誌の点検整備項目をご覧ください。なお、作業終了後すぐは機械が大変熱くなっています。ご注意ください。異常が見つかった場合は、速やかに使用を中止し整備を実施して下さい。

3 可燃、引火、爆発の危険性への注意

- 給油作業は換気の良い場所で、車体を水平にしエンジンを停止してから行って下さい。
- 給油中はタバコの火や他の火種になるものを近づけないで下さい。また、静電気にもご注意ください。
- ガソリンがこぼれないよう十分気を付けて下さい。万が一こぼれた場合は、速やかに拭き取って下さい。
- 給油後は、キャップを確実に締めて下さい。
- マフラーなど高熱となる付近にガソリン、オイル、紙等、可燃・引火の恐れのある物を近づけないようご注意ください。
- 機械からの排気熱により周辺を変色させる、植物を枯らせてしまうなどの危険性にも配慮して作業を行って下さい。

4 排気ガス（一酸化炭素）中毒や酸欠事故をおこさないために

トンネル内や室内等の閉鎖空間でエンジン式コンクリートカッターを使用すると、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。健康に重大な障害をもたらすばかりか、死亡する恐れがありますので、閉鎖空間での使用はおやめ下さい。（暖機運転中でも危険は変わりません。エンジンを作動させていれば、空間内の酸素を消費して、CO・CO₂を排出します。）



一酸化炭素中毒予防について厚生労働省「建設業における一酸化炭素中毒予防のためのガイドラインの策定について」基発第三百二十九号平成10年6月1日、「労働安全衛生規則」などを参考にして下さい。

5 ブレード、ブレードカバー

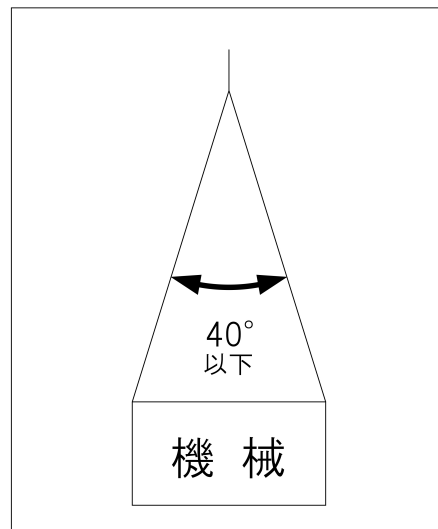
- ・ ブレード製造業者が提供した取扱説明書を参考して下さい。
- ・ コンクリートカッター用に設計されたブレードをお使い下さい。取り付け可能なブレードの中心穴径は、27mmとなっています。
- ・ 作業開始前にブレード（回転方向、回転数、ガタツキ等）、ブレードカバーの正しい取り付け状態である事を確認して下さい。
- ・ クラックやチップ飛び等、破損したブレードは使用しないで下さい。
- ・ 切削直後は、ブレードカバーが熱を帯びています。取り扱いに注意して下さい。

6 安全な作業をするために

- ・ 作業しやすい清潔な服装を着用する。
- ・ ヘルメットを着用する。（あご紐をしっかり締める）
- ・ 手袋、安全靴、防塵マスク、防護メガネを着用する。
- ・ 安全チョッキ（夜間は蛍光性の物）を着用する。

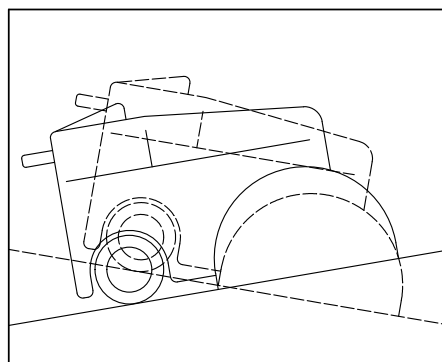
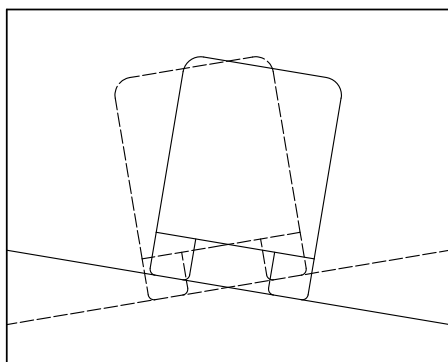
7 機械吊り上げについて

- ・ ワイヤロープ等で機械を吊り上げる際、ワイヤロープの角度を40度以下にして下さい。
- ・ 無理な吊り方や不安定な吊り方をすると、機械の破損、重大な事故に繋がる可能性があります。

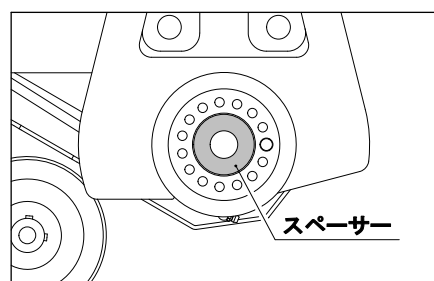
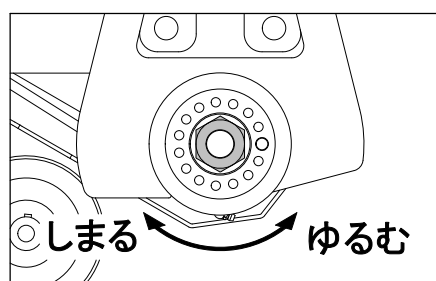


8 傾斜地での使用について

- 傾斜のある場所で本機を使用するとエンジン油圧低下等、不具合が生じます。最悪エンジンの焼き付き等、破損の原因になります。



9 フランジナット, スペーサー



- Bau800は、アッパーカット切断方式です。
フランジナットを緩める時：左に廻す
締める時：右に廻す
- ドライブフランジアウターにスペーサーが付いています。使用するブレードの厚さにより、スペーサーを抜いてご使用になれます。

10 機械保管について

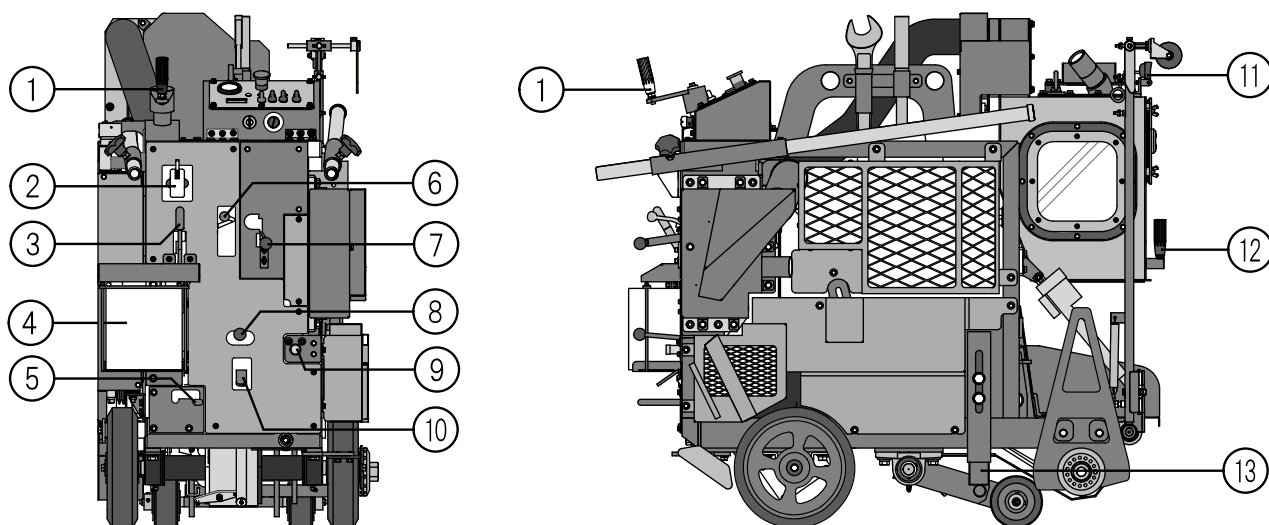
- 機械を保管する時は、屋根のある場所で保管して下さい。保管場所に屋根が無い場合は、機械の保管用カバー（オプション）があります。ご検討下さい。

11 保障規定

- 保障期間として、製品お渡し日より **6ヶ月間** とします。
- 弊社コンクリートカッター最初のご購入者に対し、品質上又は製造上の欠陥と確認できた場合、部品交換及び修理を弊社負担とします。転売購入された製品は、保障対象外です。
製品のボディーカバー等、機能上問題の無い箇所についても同様とします。
- エンジン及び他社が製造する部品等の不具合が生じた場合、当該各製造メーカーの保障規定に従い、その範囲内においてのみ保障致します。
- 保障期間内であっても下記内容に該当する場合は、保障致しません。
 - ベアリング, ベルト, パッキン等の消耗品
 - 弊社の了解なく改造等が加えられ、それにより生じた不具合
 - 天災, 過失等により生じた不具合

操作要項 & 各部名称

機械本機



① 手動ハンドル

- ・ ⑧シフトレバーが手動レンジ、③ブレーキが解除、⑤手動・走行切り替えレバーが右にある状態で手動での移動が可能になります。

② メインスイッチ

- ・ スイッチ操作によりON・OFFを切り替えます。

ONの時 : エンジンが停止していても油圧昇降やゲージは、作動します

OFFの時 : エンジン及び電気を要するレバー、スイッチは、作動しません

③ パーキングブレーキ

- ・ レバーを引けばブレーキが効き、押せば解除されます。ブレーキが効いた状態で走行すると走行装置を損傷する場合があります。
- ・ 機械から離れる場合や停車時などは、必ずブレーキを掛けて下さい。
- ・ ブレーキの効きが甘いと大変危険です。定期的に点検整備を行って下さい。

④ バッテリー

⑤ 手動・走行切り替えレバー

- ・ 切り替えレバーを右に入れた状態で、⑧シフトレバーが手動レンジの時に①手動走行ハンドルでの操作を可能にします。

⑥ 油圧昇降レバー

- ・ 車体フロントを上下させるレバーです。レバーを上げると上がり、下げると下がります。
- ・ エンジン停止状態、メインスイッチOFF、非常停止スイッチONでも、レバーを下げると下がります。ご注意ください。

⑦ スピードコントロールレバー

- ・ レバーを上げれば前進、下げれば後進します。レバーを倒す角度でスピード調節できます。

⑧ シフトレバー

- ・ 廻送／手動／切削 レバーを使用するレンジに合わせて下さい。レバーの操作は、車体の走行を停止しブレーキを効かせて行って下さい。走行中、傾斜地でのシフトレバーの操作はしないで下さい。

⑨ 下降スピード調整バルブ（オプション）

- ・ バルブの調整により、車体の下降スピードを変える事ができます。

⑩ デフロックレバー

- ・ レバーを引き上げるとデフロックを解除し、下げるとデフロック状態になります。

⑪ LED前照灯

- ・ マグネット式取付のため、作業者の好みの位置、角度でご使用になれます。ライトの配線に負担の掛らない位置でご使用下さい。

⑫ 粉塵取出し口シャッター開閉レバー

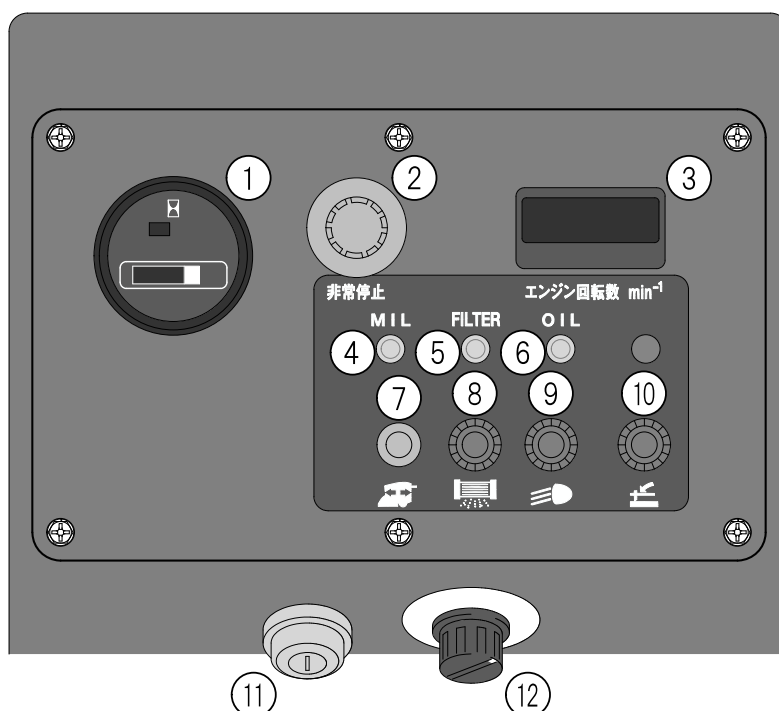
- ・ レバー操作でシャッターを開閉し、集塵機内に溜まった粉塵を下の袋に落とします。
- ・ 取出し口シャッターは、必ず閉めて切削作業を行って下さい。

⑬ デプスストッパー

- ・ 車体の下降位置(ブレードの切り込み深さ)を一定に保つ事ができます。エンジンを停止した状態で、デプスストッパーの調整を行って下さい。

操作要項 & 各部名称

メーターパネル



① アワーメーター

- ・ イグニッションON又は、エンジン作動中の累積時間(h)を表示します。

② 非常停止スイッチ

- ・ 事故発生の恐れがある場合などに、押せばエンジンが停止します。
- ・ スイッチを右に回せばロックが解除され、エンジンの再始動が可能になります。

③ 回転計

- ・ エンジン回転数(min-1)を表示します。

④ MILランプ (赤)

- ・ エンジンの異常時に点滅します。

⑤ フィルターランプ (緑)

- ・ ⑧集塵機フィルター自動払い落としスイッチONの時のみ点灯します。

⑥ オイルランプ (赤)

- ・ エンジンオイル圧力が異常の場合に点灯します。

⑦ HST走行ON-OFFスイッチ（オプション）

スイッチOFF：スピードコントロールレバーの位置に関係なく走行を停止します。

スイッチON：従前の速度で走行します。

⑧ 集塵機フィルター自動払い落としスイッチ

- ・ エンジン停止中に、集塵機フィルター自動払い落とし機構を単独で作動させます。

⑨ ライトスイッチ

- ・ このスイッチで全ての（前方及び、オプションで追加された）作業灯を点灯させます。

⑩ ゲージスイッチ

- ・ 切削ラインを示すガイドを動かすスイッチ。
- * ガイドの先端にロープを結んでおけば、緊急時に手動で引き上げる事もできます。

⑪ イグニッションキースイッチ

- ・ 鍵を右に回しエンジン始動、左に回しエンジン停止。

⑫ スロットルボリューム

- ・ エンジン回転を調整します。エンジン始動・停止などは必ずアイドル状態にして下さい。

Bau800 点検リスト

安全に作業していただくために、点検リストに沿って必ず行って下さい。

作業前・作業後 点検

エンジン	箇所	項目	対応
停止中	ベルト	張り, 破損, 亀裂の確認	・ベルトが緩い場合は、張りなおす ・破損, 亀裂がある場合は、交換する
	エンジンオイル	オイル量, 汚れの確認	・オイル量が少ない場合は、補充する ・オイルが汚れていたら、交換する
	エンジン エアークリーナー	詰まり, 汚れの確認	・エンジン上部の蓋を開け中のフィルターを清掃する
	ガソリン	ガソリンの量を必ず確認	・ガソリン量が少ない場合は、補充する
	ブレードシャフト	フランジ, ネジ部 汚れの確認	・フランジ, ネジ部に粉塵や汚れのある場合は、必ず清掃する
稼働中	ベアリング	固着, 異音の確認	・固着, 異音がある場合は、交換する
	ピローブロック	ガタツキ, 異音の確認	・ガタツキ, 異音がある場合は、交換する
	バキュームユニット	吸い込みの確認	・吸い込みが悪い場合は、ベルトを張り直す
	ブレード	破損がないか確認	・破損したブレードは、使用しない
	パーキングブレーキ	正常に効くか確認	・正常に効かない場合は、直ぐに整備する
	集塵袋	穴, 粉塵の確認	・穴, 粉塵がある場合は、交換する
	集塵機フィルター	フィルターに残った粉塵を落とす	・作業前又は作業後に集塵機フィルターの清掃する

* エンジン稼働中の点検は大変危険です。十分注意して行って下さい。

点検整備

箇所	項目	周期
フューエルタンク	フューエルタンク水抜き	1ヶ月毎目安でタンク下より排水
エンジン	エンジンオイル	50時間毎 交換
	オイルフィルター	2ヶ月又は100時間毎 交換
集塵機	集塵機フィルター	稼働時間100時間毎 交換
ブレードシャフト ピローブロック	グリスアップ	30時間 毎
前輪アーム ピローブロック	グリスアップ	200時間 毎
前車輪	グリスアップ	100時間 毎
カウンターシャフト ピローブロック	グリスアップ	30時間 毎
油圧ホース 電装線	経年劣化, 変質, 破損	5年を目安に交換を推奨
チェーン	張り, 破損	50時間 毎

オイル一覧

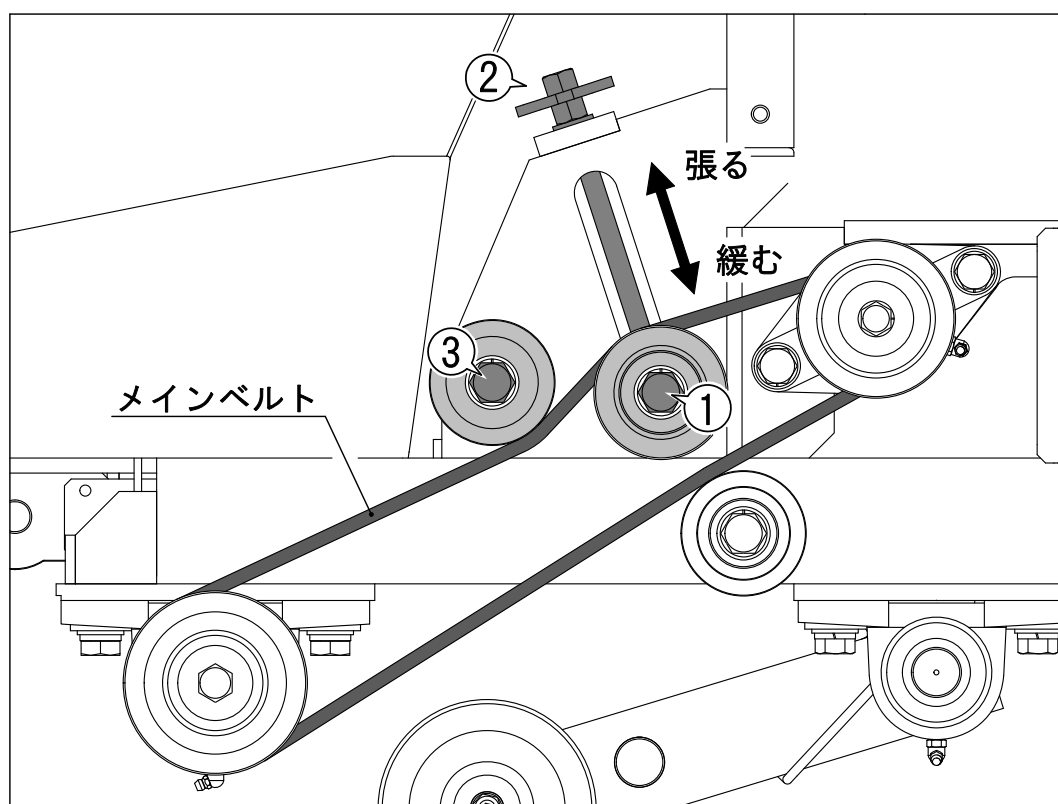
箇所	種類		数量
エンジン	エンジンオイル	SAE10W-30 相当品	1.5 リットル フィルター同時交換 1.7 リットル
HST	エンジンオイル	SAE10W-30 相当品	350 ミリリットル
走行ミッション	ギヤオイル	80W-90 相当品	2.0 リットル
パワーユニット	ハイドロオイル	ISO32 相当品	1.0 リットル

ベルト一覧

箇所		サイズ	数量
カウンター出力プーリー	～ ブレードプーリー	3VX500	4本
エンジンプーリー	～ カウンター入力プーリー	3VX335	4本
エンジンプーリー	～ HST入力プーリー	AX28	1本
エンジンプーリー	～ 増速プーリー	AX28	1本
増速プーリー	～ プロアープーリー	25FL1180	1本

メインベルト(3VX-500) 交換

* ベルト交換，張り直し作業を行なう時は、機械のブレーキを掛けエンジンが冷めてから行なって下さい。

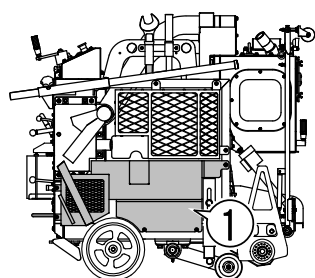


図A-a

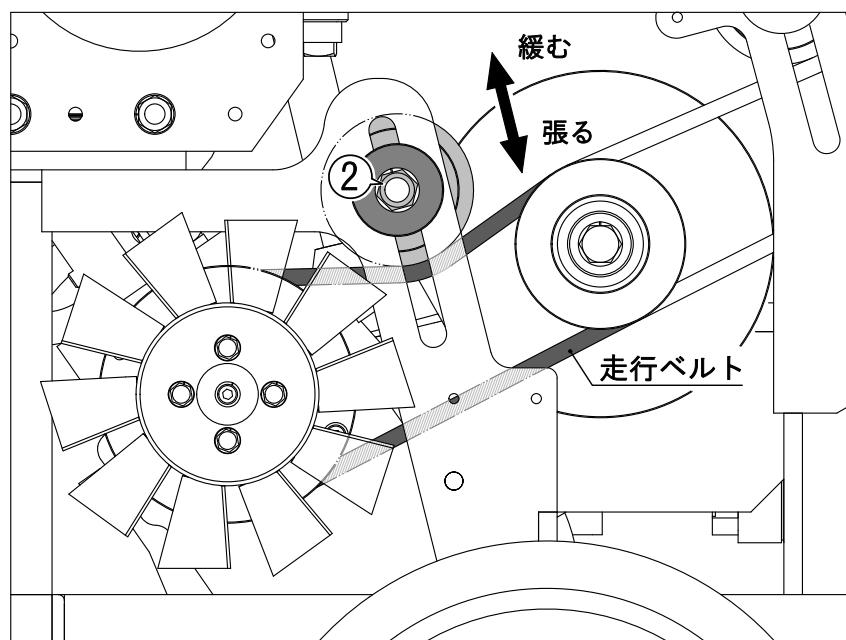
1. ベルトカバーを開ける。
2. 図A-a ①六角ボルト（対辺21）を緩める。
3. 図A-a ②メンテナンスボルトを半時計方向に回し、メンテナンスプーリーをスライドさせメインベルトを緩める。
4. 図A-a ③六角ボルト（対辺21）を緩め、メンテナンス平プーリーを取り外す。
5. メインベルトを掛け替える。又は交換する。
高回転：プーリーの外側にベルトを掛ける。
低回転：プーリーの内側にベルトを掛ける。
6. メンテナンス平プーリーを取り付ける。
7. 図A-a ②メンテナンスボルトを緩め、メンテナンスプーリーをスライドさせメインベルトを張る。
*ベルトの張り過ぎに注意する
8. 図A-a ①六角ボルト（対辺21）を締め付ける。

走行ベルト(AX-28) 交換

* ベルト交換，張り直し作業を行なう時は、機械のブレーキを掛けエンジンが冷めてから行なって下さい。



図B-a

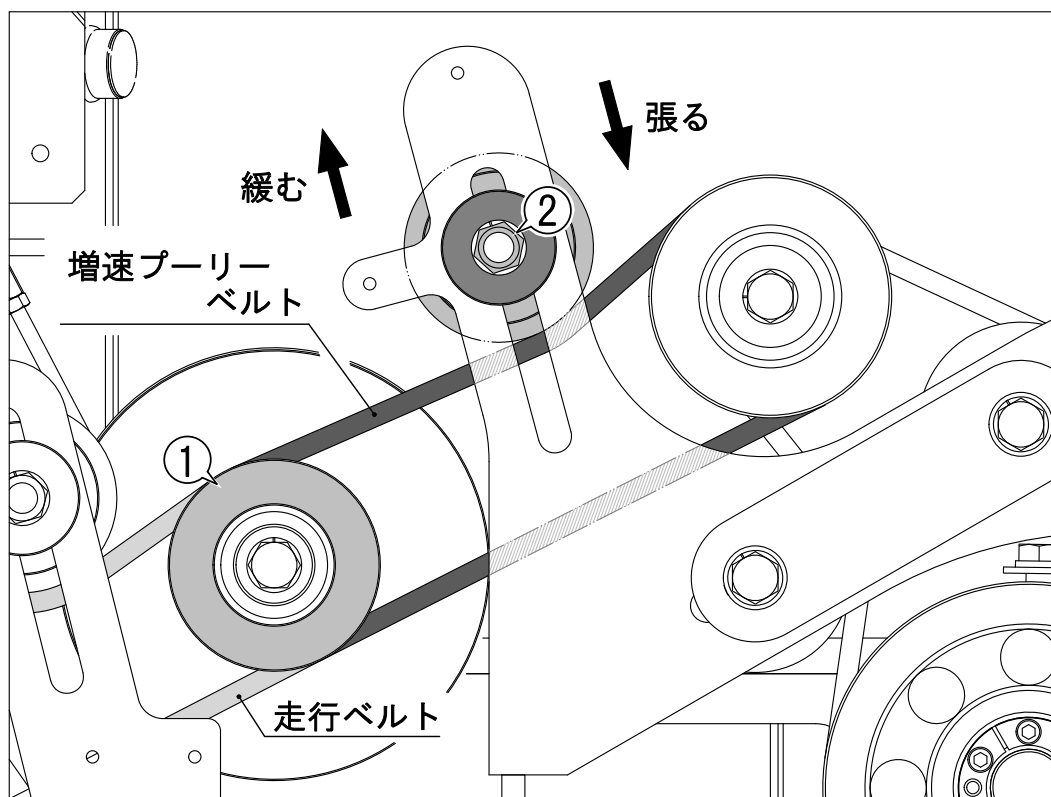


図B-b

1. 図B-a ①右サイドカバー下を取り外す。
2. 図B-b ②ナット（対辺19）を緩める。
3. 図B-b ②部のテンション平プーリーをスライドさせ走行ベルトの張りを緩め、ベルトを交換する。
* ベルトを交換する際、HSTファンの羽に注意して行なって下さい。
* オプションのHST走行ON-OFF機構が付いている場合は、クラッチ回り止め金具を外してから走行ベルトの交換を行なって下さい。
4. 図B-b ②部のテンション平プーリーをスライドさせ走行ベルトを張る。
* ベルトの張り過ぎに注意する
5. 図B-b ②ナット（対辺19）を締め付ける。

増速プーリーベルト(AX-28) 交換

- * ベルト交換，張り直し作業を行なう時は、機械のブレーキを掛けエンジンが冷めてから行なって下さい。

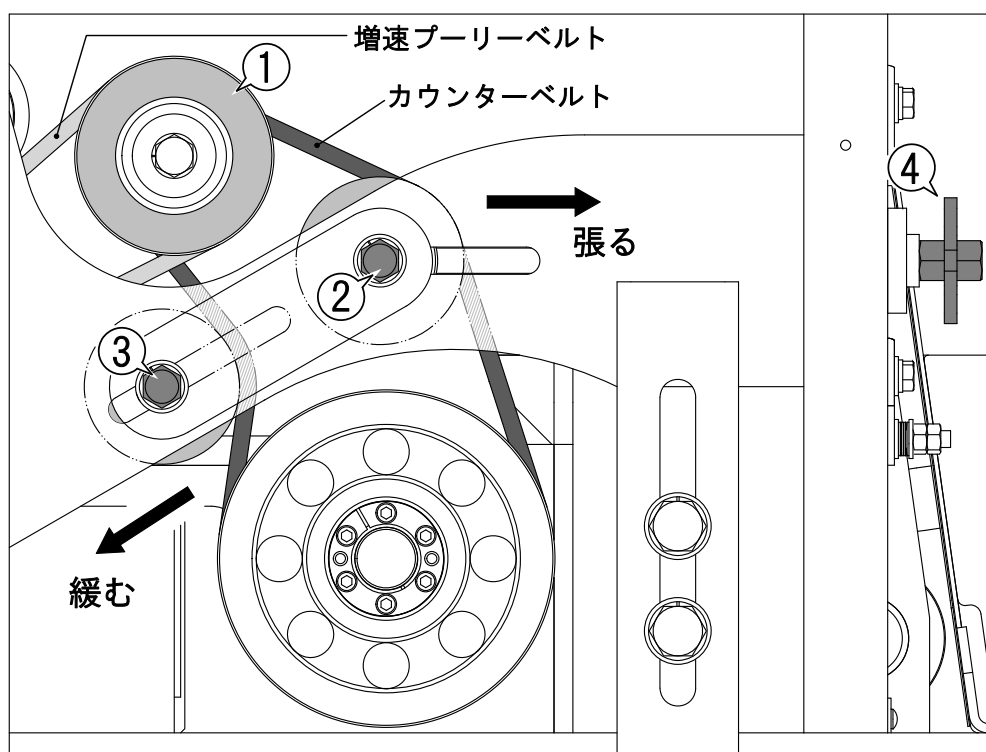


図C-a

1. 走行ベルトの交換手順 1～3を行ない図C-a ①のプーリーから走行ベルトを取り外す。
2. 図C-a ②ナット（対辺19）を緩める。
3. 図C-a ②部のテンション平プーリーをスライドさせ、増速プーリーベルトの張りを緩め、ベルトを交換する。
4. 図C-a ②部のテンション平プーリーをスライドさせ、増速プーリーベルトを張る。
*ベルトの張り過ぎに注意する
5. 図C-a ②ナット（対辺19）を締め付ける。
6. 図C-a ①のプーリーに走行ベルトを掛け、走行ベルト交換手順 4，5を行なう。

カウンターベルト(3VX-335) 交換

* ベルト交換，張り直し作業を行なう時は、機械のブレーキを掛けエンジンが冷めてから行なって下さい。

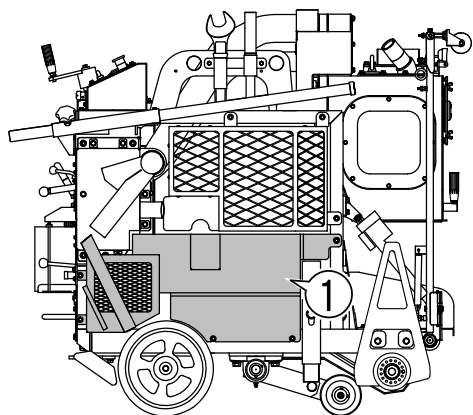


図D-a

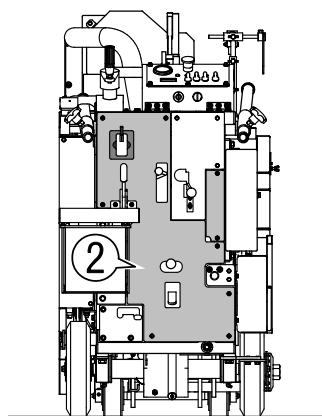
1. 右サイドカバー下を外し、増速プーリーベルトの交換手順 2, 3 を行ない
図D-a ①のプーリーから増速プーリーベルトを取り外す。
2. 図D-a ②, ③六角ボルト（対辺19）を緩める。
3. 図D-a ④カウンターテンションボルトを半時計方向に回し、図D-a ②部カウンターテンションプーリーと図D-a ③部カウンターテンション平プーリーをスライドさせ、カウンターベルトの張りを緩め、ベルトを交換する。
4. 図D-a ④テンションボルトを緩め、テンションプーリーをスライドさせカウンターベルトを張る。
* ベルトの張り過ぎに注意する
5. 図D-a ②, ③六角ボルト（対辺19）を締め付ける。
6. 図D-a ①のプーリーに増速プーリーベルトを掛け、増速プーリーベルト交換手順4, 5を行なう。

ブローア駆動ベルト(25FL1180) 交換

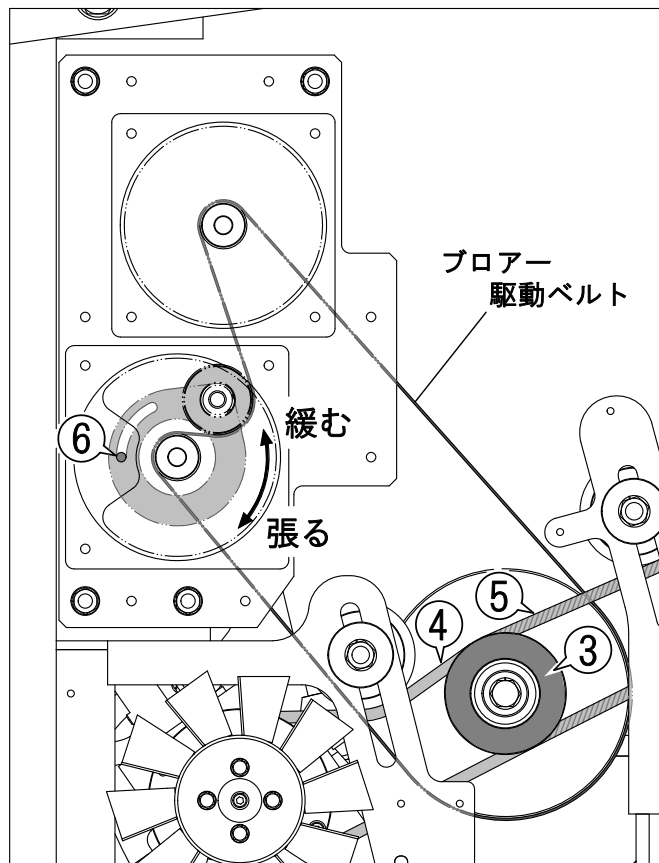
* ベルト交換, 張り直し作業を行なう時は、機械のブレーキを掛けエンジンが冷めてから行なって下さい。



図E-a



図E-b

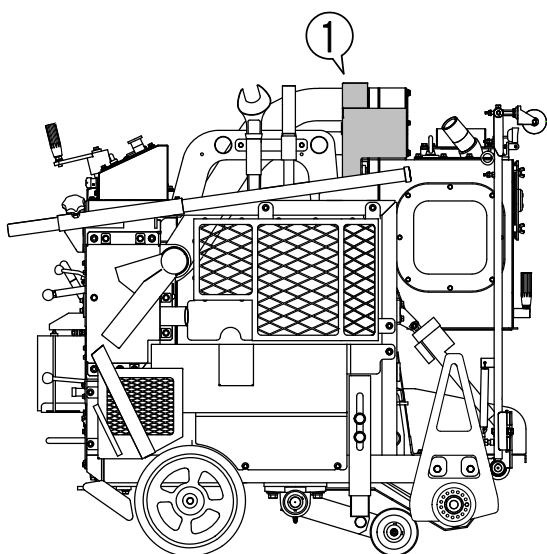


図E-c

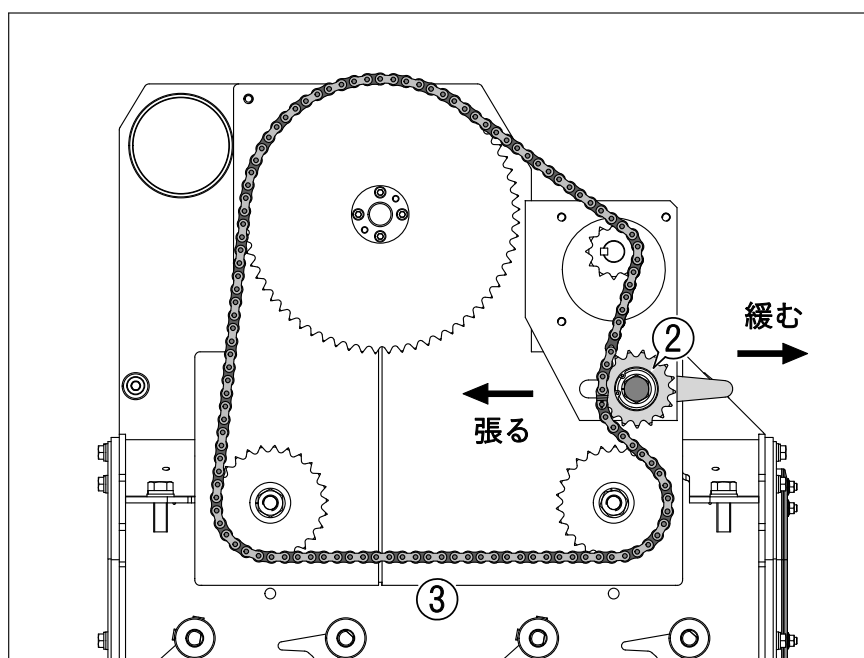
1. 図E-a ①右サイドカバー下及び、図E-b ②リアカバーAとリアカバーBを取り外す。
2. 走行ベルト交換手順 1, 2 及び増速プーリーベルト交換手順 1, 2 を行ない、図E-c ③プーリーから④走行ベルトと⑤増速プーリーベルトを取り外す。
3. 図E-c ⑥六角ボルト（対辺13）を緩め、テンションブラケットをスライドさせブローア駆動ベルトの張りを緩め、ベルトを交換する。
4. ブローア駆動ベルトを掛けたら、各プーリーのベルトの通りを合わせる。
*コントロールパネルカバーを開け、上から確認する事ができます。
5. 図E-c ⑥テンションブラケットをスライドさせ、ブローア駆動ベルトを張る。
*ベルトの張り過ぎに注意する
6. 図E-c ③のプーリーに④走行ベルトと⑤増速プーリーベルトを掛け、
増速プーリーベルト交換手順 4～6 を行なう。

チェーン

- * 集塵機後ろ側に、フィルター自動払い落とし用のチェーンがあります。
緩んでいる場合には、張り直して下さい。



図F-a

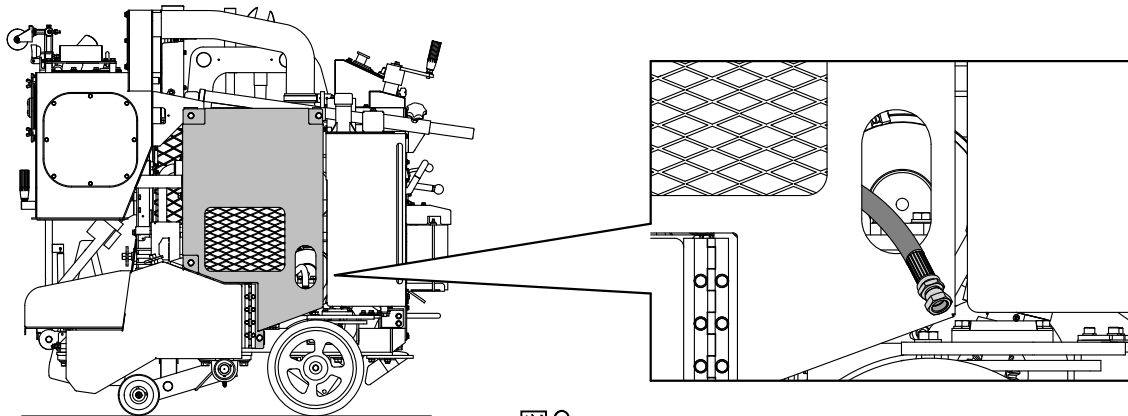


図F-b

1. 図F-a ①チェーンカバーを取り外す。
2. 図F-b ②ボルト（対辺19）を緩める。
3. 図F-b ②部のスプロケットをスライドさせチェーンを張り直す。
* 図F-b ③部分で5mm程度動くように張る
4. 図F-b ②ボルト（対辺19）を締め付ける。

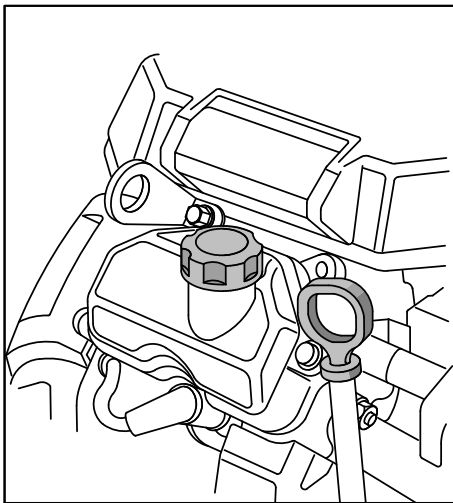
エンジンのオイル交換

* エンジンが冷めている状態で作業を行なって下さい。

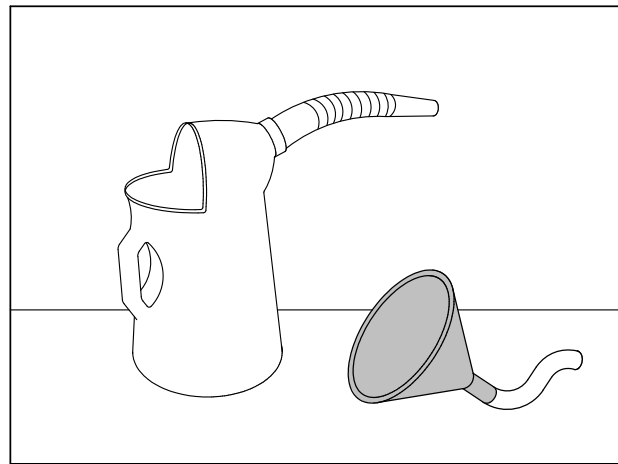


図G-a

1. 左サイドカバーのドレンホース取り出し口から、ドレンホースを外に出す。
2. 廃油を入れる容器を用意し、ドレンホース先端のめくら栓を外しオイルを抜く。
3. オイルが抜けたら、めくら栓を締め付けてドレンホースを収納する。



図G-b



図G-c

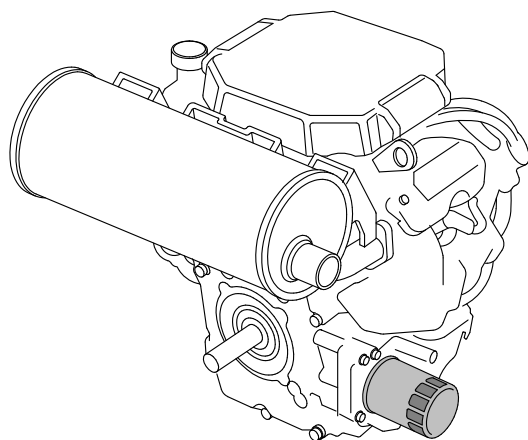
4. エンジン上部前側のオイル注入口からオイルを適量入れる。

オイル量：1. 5リットル フィルター同時交換：1. 7リットル

* レベルゲージでオイル量を確認して下さい。

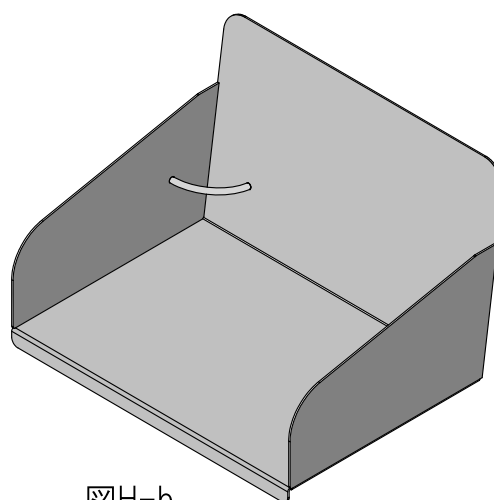
* 工具箱の中にあるジョーゴを使用すると、作業がしやすくなります。

オイルフィルター交換



図H-a

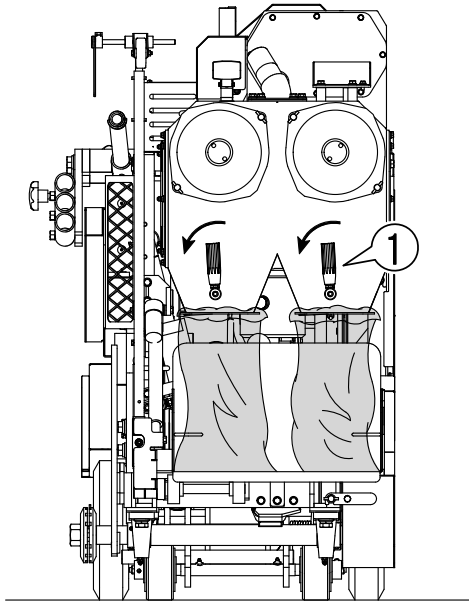
1. エンジンオイル交換手順 1～3 を行なう。
 2. エンジン前側、下の方のオイルフィルターを、付属工具のカップ型フィルターレンチで交換する。
- * 集塵機下にあるベッセル（図H-b）を取り外すと、作業が楽に行なえます。



図H-b

3. エンジンオイル交換手順 4 を行なう。

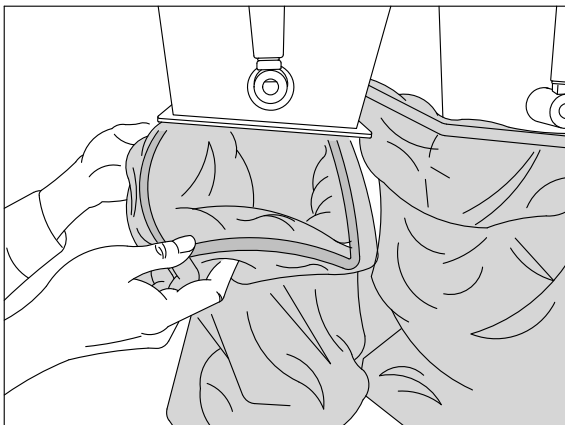
集塵袋交換



図J-a

1. ベッセル内側2個所のリングに、それぞれまとめてある袋を取り出す。
2. 集塵機の図J-a ①レバーを動かして、粉塵を袋に落とす。

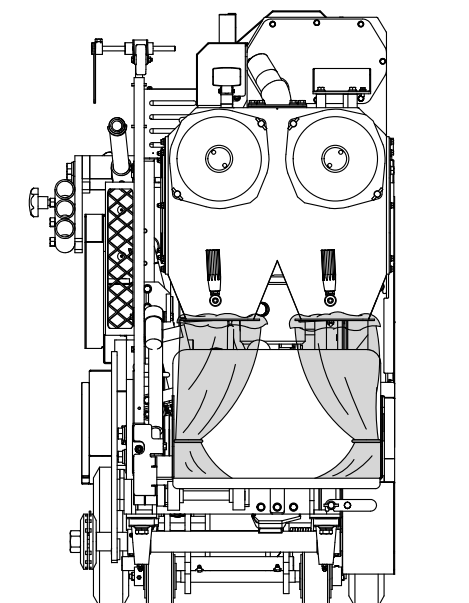
* ベッセルに袋をまとめたまま、粉塵を落とすと集塵機から袋が外れる可能性があります。



図J-b

3. 集塵袋を止めているゴムバンドを引っ張り集塵袋を集塵機から取り外す。
4. 新しい集塵袋を取り付ける時は、袋の口にゴムバンドを付けて集塵機にセットする。

* 粉塵取り出し口が密閉しないと集塵能力を発揮できないため、**気密性のある袋**を使用する。

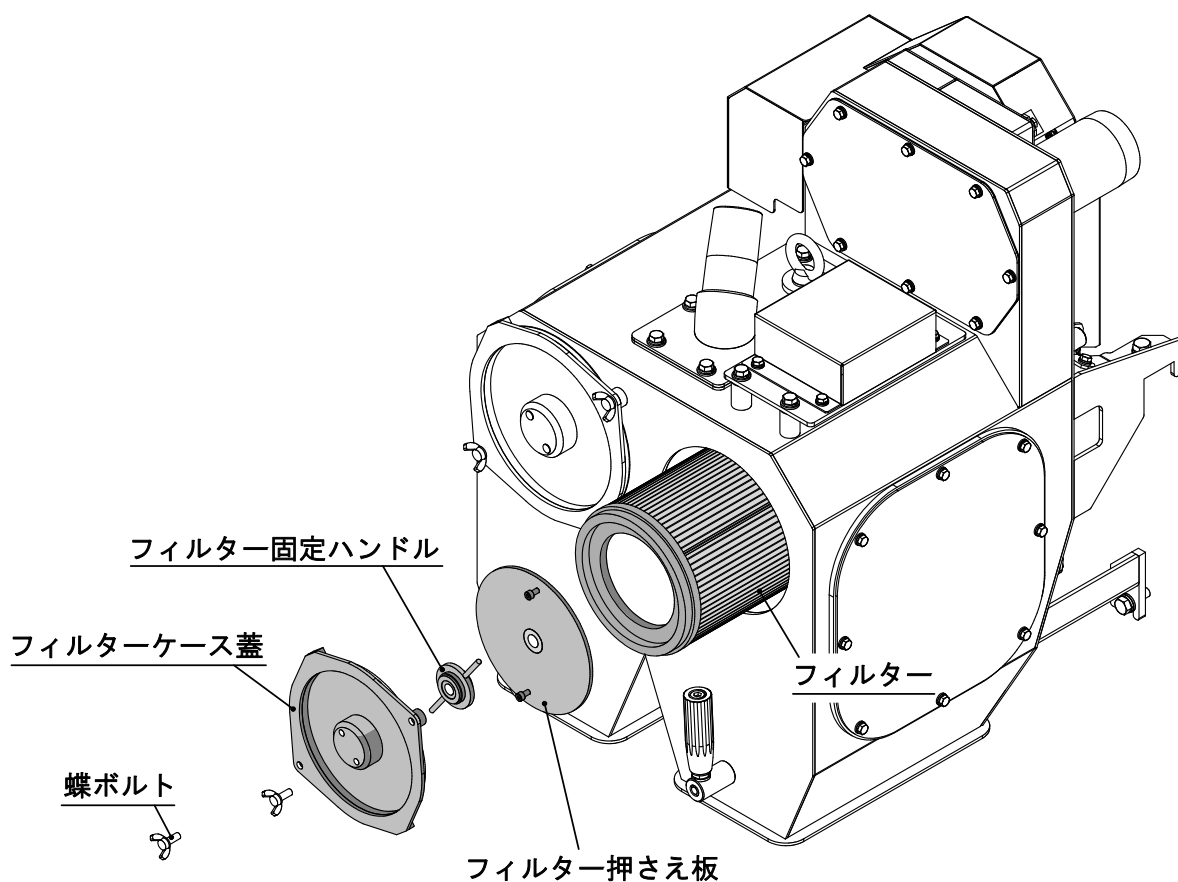


図J-c

5. 袋の交換が終わったら、ベッセルのリングに袋をそれぞれまとめる。

集塵機フィルター交換

* エンジンを止め、フィルター払い落としスイッチをOFFにして行なって下さい。



図K-a

1. 集塵機前側からフィルター交換を行なう。

2. 蝶ボルト

フィルターケース蓋

フィルター固定ハンドル

フィルター押さえ板

フィルター

の順に集塵機から外す。

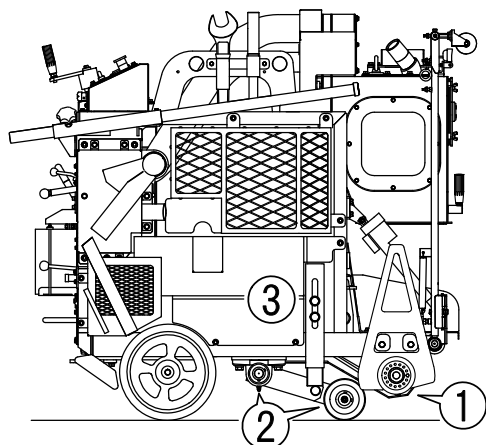
* フィルターが外し難い時は、手で廻しながら引き抜いて下さい。

3. 2の逆の順番で取り付ける。

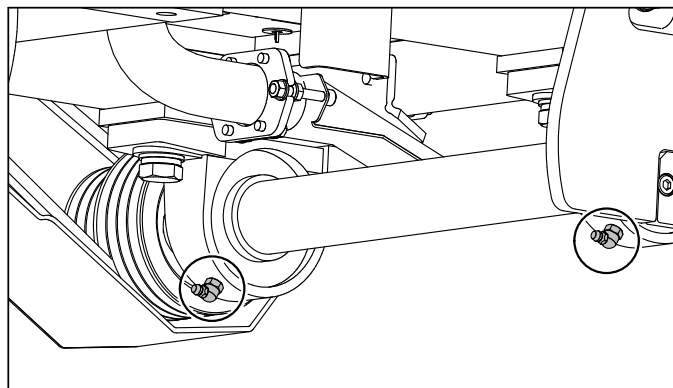
* フィルターの取付は、奥までしっかり入れて下さい。

* フィルターは水洗いする事ができます。水洗いした時は、完全に乾燥した状態で集塵機に取付けて下さい。

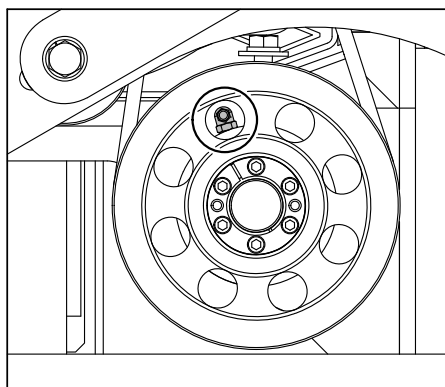
グリスアップ箇所



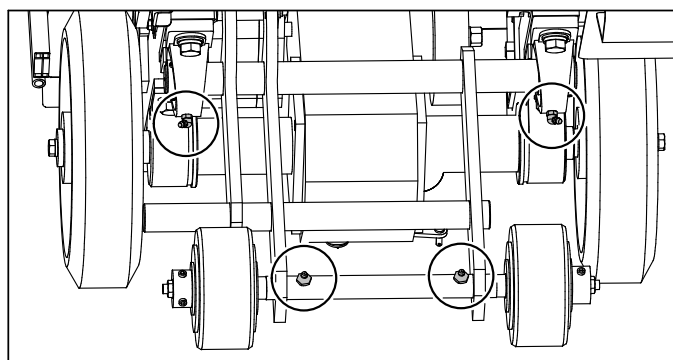
図L-a



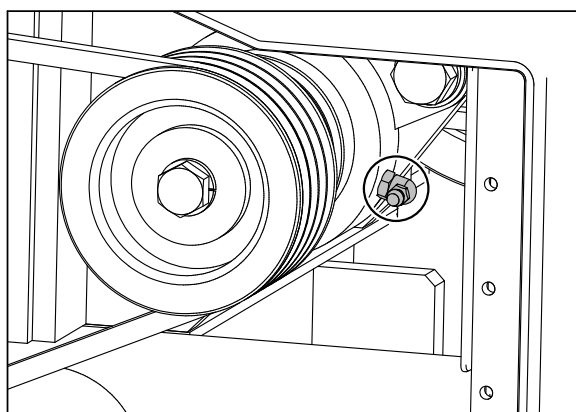
①. ブレードシャフトピローブロック 2箇所



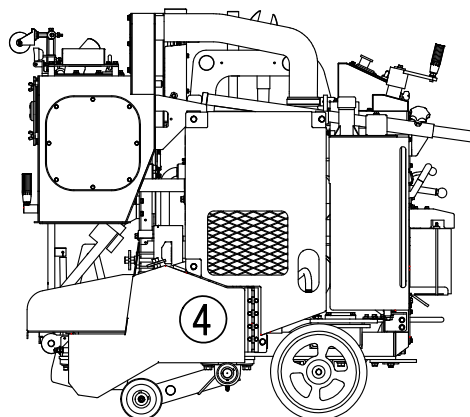
③. カウンターシャフトピローブロック
(ボディーカバーを外す)



②. 前車輪アームピローブロック 2箇所
前車輪 2箇所

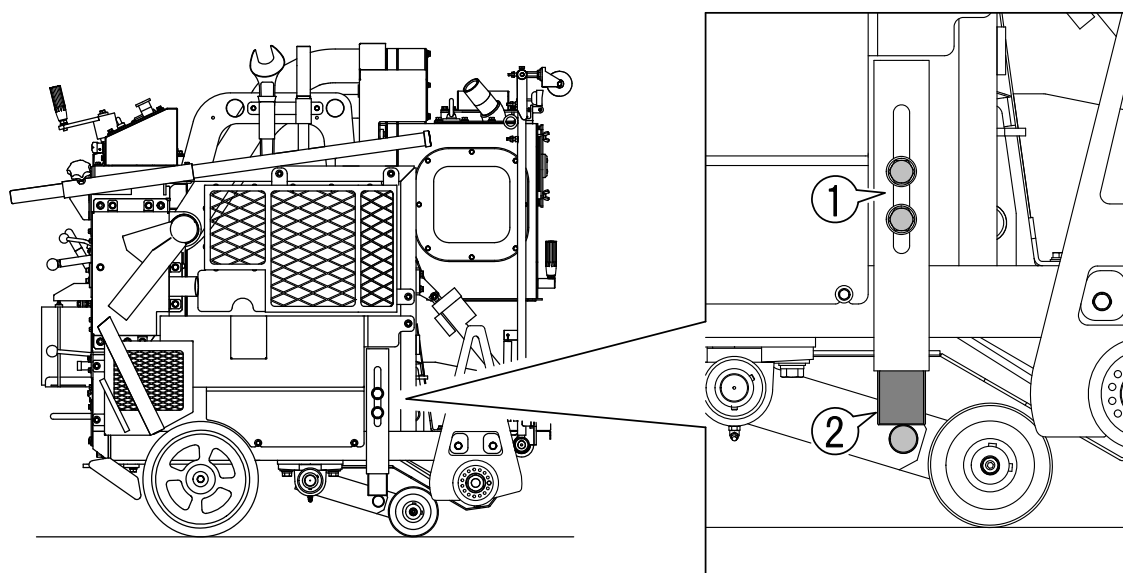


④. カウンターシャフトピローブロック
(ボディーカバーを開ける)



図L-b

デプスストッパー



図M-a

1. 路面にブレードを入れ、深さを確認する。
2. 図M-a ①六角ボルト（対辺24）2箇所を緩める。
3. 図M-a ②ストッパーを前車輪アーム側のストッパーアームに当てる。
4. 図M-a ①六角ボルト（対辺24）2箇所を締め付ける。

エンジン異常診断

- ・ エンジンに異常が発生すると、メーターパネルのMILランプが点滅します。
- ・ イグニッションONで1度点滅し、その後点滅回数により異常箇所の特定位が可能です。
- ・ 点滅回数が確認できましたら、お手数ではございますが仲山鉄工(株)サービスあるいは、修理業者様へ、ご連絡下さい。

一覧表

点滅回数	故障箇所
9	ECU の異常
2	スロットルモータの異常
3	TP センサ1の異常
4	TP センサ2の異常
5	TP センサの異常
6	IAT センサの異常
7	TE センサの異常
8	MAP センサの異常

ECU :コンピュータ

TP :スロットルポジション

IAT :吸気温度

TE :エンジン温度

MAP :吸気管圧力

エンジン回転・ブレード回転 相対表

エンジンブリー		伝導軸ブリー		メイン伝導減速比		Hi伝達ブリー		Hiブレードブリー		Hiタータル減速比		Lo伝達ブリー		Loブレードブリー		Loタータル減速比	
φ 72.00		φ 161.00		0.45		φ 95.00		φ 87.00		0.49		φ 72.00		φ 110.00		0.29	
エンジン回転数 min ⁻¹ (rpm)	Hiブレード軸回転数		Hiセット ブレード周速 m/min				Loブレード軸回転数		Loセット ブレード周速 m/min								
	min ⁻¹ (rpm)	12"	14"	18"	22"	min ⁻¹ (rpm)	12"	14"	18"	22"							
2000	977	935	1091	1403	1715	585	561	654	841	1028							
2100	1025	982	1146	1473	1800	615	589	687	883	1079							
2200	1074	1029	1200	1543	1886	644	617	719	925	1131							
2300	1123	1075	1255	1613	1972	673	645	752	967	1182							
2400	1172	1122	1309	1683	2057	703	673	785	1009	1233							
2500	1221	1169	1364	1754	2143	732	701	818	1051	1285							
2600	1270	1216	1418	1824	2229	761	729	850	1093	1336							
2700	1318	1263	1473	1894	2315	790	757	883	1135	1387							
2800	1367	1309	1527	1964	2400	820	785	916	1177	1439							
2900	1416	1356	1582	2034	2486	849	813	948	1219	1490							
3000	1465	1403	1637	2104	2572	878	841	981	1261	1542							
3100	1514	1450	1691	2174	2658	907	869	1014	1303	1593							
3200	1563	1496	1746	2244	2743	937	897	1046	1345	1644							
3300	1611	1543	1800	2315	2829	966	925	1079	1387	1696							
3400	1660	1590	1855	2385	2915	995	953	1112	1429	1747							
3500	1709	1637	1909	2455	3000	1025	981	1145	1472	1799							
3600	1758	1683	1964	2525	3086	1054	1009	1177	1514	1850							

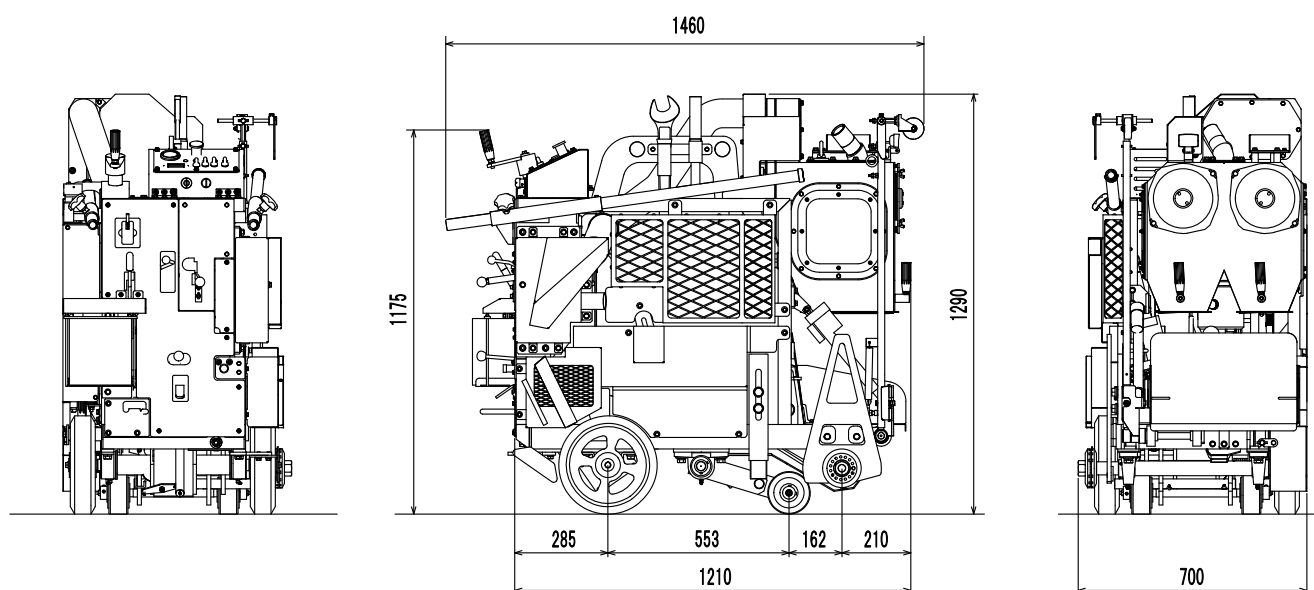
(m/min)

ブレードメーカー推奨周速

コンクリート・アスファルト推奨周速(1400~1700m/min)

Bau800 仕様書

型式の名称	Bau800
エンジン	HONDA iGX800空冷4サイクルV型2気筒 779 cc
最大出力	18.6 kw(25.3 PS)/ 3,600 min-1
連続定格出力	16.6kw(22.6PS)/ 3,000 min-1
変速方式	HI・LO ベルト掛け替え2段変速 エンジン回転数 3,000 min-1 時、出力軸回転数 HI:1,465 min-1 LO:878 min-1
本体サイズ	1460L×700W×1290H
重量	485 kg
切断方式	乾式切断・アッパーカット方式
最大切削深さ	200 mm
深さ調節	油圧昇降式
走行	HSTレバー調整 前進: 切削 0~900 m/h、廻送 0~2.8 km/h 後進: 切削 0~300 m/h、廻送 0~1 km/h
集塵装置	円筒フィルター式、ブロー吸気量 4 m ³ /min 集塵タンク容量: 24 Liter (12 Liter×2) 切断距離目安: ブレードボンド巾 4 mm×切削深さ 5 cm 時 20 m
燃料タンク	10 Liter
ブレードカバー	12", 14", 18", 22"



NAKAYAMA
仲山鉄工株式会社

〒426-0055
静岡県藤枝市大西町3丁目14番地の1

TEL : 054-635-1383
FAX : 054-635-0418
URL : <http://www.nakayama-azz.co.jp>
E-mail : info@nakayama-azz.co.jp

